

## 療養費適正強化講習会のお知らせ

本年も鍼灸保険協会大阪と共催で療養費適正強化講習会を行います。日本鍼灸師会健保委員会 小林潤一郎委員長を招聘し、厚労省との交渉の空気感を含めて今年度の変更点などをお話しいただきます。療養費を取り扱われる場合はご参加ください。また午前は経営改善講座として2題の講習を行います。申込み方法など詳しくは本会および鍼灸保険協会のWebサイトに掲載していきますのでご参照ください。

(民生労災委員会 喜多)

日時 令和6年7月21日(日)

会場 森ノ宮医療学園専門学校  
アネックス校舎 4F ホール  
(大阪市東成区中本 2-5-41)

内容 ■午前の部 9:30~12:15 経営改善講座  
「ゼロから始める 鍼灸師のための物理療法」  
「『実生ゆず』の活用で治療院のサービス向上と売上アップ！」  
■午後の部 13:30 ~ 16:30 療養費適正強化講習会



## 療養費の料金改定について

あはき療養費の令和6年度料金改定案が出ています。そのまま施行に至ると思われますが、時期は6月1日と10月1日の2回に分かれています。様々な変更がありますので、詳細は

<https://www.mhlw.go.jp/content/12601000/001249723.pdf>

を確認していただくようお願いいたします。  
また、療養費適正強化講習会では解説をさせていただきます。  
療養費の改定率は医科の診療報酬改定率の半分が慣例で、今回もそうになっています(+0.26%)。  
その増加以外の各改定は、限られた財源の割り振り方を適切にするべく変えられたこととなります。

(民生労災委員会 喜多)



## ●はりきゅう 6月1日料金改定(案)

初検料 1術 1780円 → 1950円 2術 1860円 → 2230円  
施術料 1術 1550円 → 1610円 2術 1610円 → 1770円  
電療料(加算) 34円 → 100円

## ●あん摩マッサージ指圧 6月1日料金改定(案)

1局所につき 350円 → 450円  
温電法を併施(1回) 125円 → 180円  
温電法を併施 + 電気光線器具使用(1回) 160円 → 300円  
変形徒手矯正術(1肢につき) 450円 → 470円

## 料金改定の主な要素

1. 往療料の距離加算の廃止(令和6年10月1日施行)
2. 離島や中山間地など地域にかかる加算の創設(令和6年10月1日施行)
3. 往療料の見直し及び訪問施術料の創設(令和6年10月1日施行)
4. 料金包括化の推進(令和6年10月1日施行)
5. 同一日・同一建物への施術(令和6年10月1日施行)
6. 物価高騰等への対応
7. その他の見直し

## CONTENTS

## M1

療養費適正強化講習会のお知らせ

療養費の料金改定について

## M2

「介護高齢者へのはり灸施術アンケート」

## M3

(公的) 審査委員だよ Re: No.29

会費徴収方法変更のお知らせ(再再掲)

令和6年3月度 会員動態報告書

## M4

公益社団法人 大阪府鍼灸師会  
令和5年度 第8回理事会 議事メモ公益社団法人 大阪府鍼灸師会  
令和6年度 第1回理事会 議事メモ



## 「介護高齢者へのはり灸施術アンケート」

地域ケア推進委員会理事

大阪介護支援専門員協会出向特命理事

永澤 至子

古村 春生

患者様で介護保険を利用されている方、または介護が必要な方に対して、どのような症状に対応できるのかを調査するアンケートをお願いしたいと思います。質問は保険の取り扱い有無に関わらずご回答ください。

このアンケート調査を通じて高齢者に対してケアマネジャーとの連携、計画に反映され、はり灸施術が活用されていることを集計し、情報を発信していきたいと考えています。

尚、スマートフォンで QR コードを読み取った時に、各設問の回答が4つ以上の場合、前に1行目の記述があり、続きがありますので、スライドしてください。画面を横向きにさせていただいても結構です。

## このアンケートの情報発信の方法

集計結果は、大阪介護支援専門員協会の情報誌などで掲載することで、他の専門家や施設との情報共有ができ、さらなる連携や知識の共有が進むでしょう。また主任介護支援専門員の更新に必要な法定外研修を、このアンケートに基づいて行うことで、介護支援専門員のスキル向上や、はり灸施術の浸透を図ることができます。

この取り組みは、高齢者の生活の質を向上させるために大変重要です。はり灸施術が介護分野での役割を果たすことで、患者様の症状や疾患へのアプローチが多様化し、より個別化されたケアが提供できるでしょう。皆さんより多くのアンケートの返信を切にお願いいたします。

## アンケート用 QR コード

(下記 QR をスマートフォンで読み取ってご回答ください)



このアンケートは Google フォームを利用して作成されたものです。

## □ 以下は質問事項の内容見本です

## 1. お名前

## 2. 会員の種別

- ☐ A 会員      ☐ B 会員      ☐ 準会員  
☐ 大阪府鍼灸師会会員外

## 3. 地域名

## 4. 施術の形態を教えてください

(勤務されている場合も勤務先の事業形態でお答えください)

- ☐ 施術所のみで施術      ☐ 施術所と往療による施術  
☐ 往療専門で施術

## 5. 保険の取扱いについて教えてください

- ☐ 自費施術と保険による施術もしている      ☐ 保険による施術のみ  
☐ 自費による施術のみ

## 6. はりの施術方法について教えてください

- ☐ さすはり      ☐ ささないはり      ☐ 電子はり      ☐ はり通電

## 7. 灸の施術方法について教えてください

- ☐ 直接灸      ☐ 間接灸      ☐ 温灸      ☐ 電子温灸

## 8. その他の施術・指導方法について教えてください

- ☐ 温巻法      ☐ 介護予防運動指導      ☐ 栄養改善指導

## 9. 日常生活機能の維持改善に有効で保険の対象になっている疾患、症状で、施術されているものを教えてください。

- ☐ 神経痛      ☐ リウマチ      ☐ 頸腕症候群  
☐ 五十肩      ☐ 腰痛      ☐ 頸椎捻挫後遺症  
☐ その他(膝関節症など)

## 10. 以下、保険対象外の疾患、症状で、施術されているものをお教えてください

## ① 脳疾患の症状・病名

- ☐ 片麻痺      ☐ 拘縮      ☐ めまい      ☐ 頭痛、頭重  
☐ 症状の重症化防止

## ② 心疾患の症状・病名

- ☐ 狭心症      ☐ 心筋梗塞      ☐ 動悸      ☐ 息切れ  
☐ 胸痛      ☐ むくみ

## ③ 呼吸器系疾患

- ☐ 感冒      ☐ 喘息      ☐ COPD (閉塞性肺疾患)      ☐ 咳  
☐ 胸痛      ☐ 息切れ

## ④ 自律神経系疾患

- ☐ 食欲不振      ☐ 意欲の低下      ☐ 不眠      ☐ 手足の冷え  
☐ 鬱症状      ☐ 不安神経症

## ⑤ 認知症の行動症状

- ☐ 暴力      ☐ 暴言      ☐ 徘徊      ☐ 介護拒否

## ⑥ 認知症の心理症状

- ☐ 不安、抑うつ      ☐ 幻視、幻聴      ☐ 睡眠障害      ☐ 妄想

## ⑦ その他、記載に無い症状・病名、施術内容等ご意見がありましたらご記入ください



## 施術録の整備、及び記載等について

療養費などにより保険施術の取扱いをする時には、あはきに関する通知に示されている、別紙3の施術録を整備する必要があります。

- ・保険者等から施術録の提示及び閲覧等を求められた場合は速やかに応ること。
- ・施術録を施術完了の日から5年間保管すること。
- ・施術録の記載事項（例）

### 1 受給資格の確認

#### ア 保険等の種類

- ① 健康保険（協・組・日）② 船員保険 ③ 国民健康保険（退）  
④ 共済組合 ⑤ 後期高齢者医療 ⑥ その他

#### イ 被保険者証等

- ① 記号・番号 ② 氏名 ③ 住所・電話番号 ④ 資格取得年月日  
⑤ 有効期限 ⑥ 保険者・事業所名称及び所在地 ⑦ 保険者番号等

#### ウ 公費負担

- ① 公費負担者番号 ② 公費負担の受給者番号

#### エ 施術を受ける者

- ① 氏名 ② 性別 ③ 生年月日 ④ 続柄 ⑤ 住所  
◎ 月初めに適宜、保険証を確認するなど、必要な措置を講ずること。

### 2 同意した医師の住所、氏名と同意年月日及び再同意した医師の住所、氏名と再同意年月日

### 3 同意疾病名

### 4 初療年月日、施術終了年月日

### 5 転帰欄には、治癒、中止、転医の別を記載すること。

### 6 施術回数

### 7 施術の内容、経過等

施術月日、施術の内容、経過等を具体的に順序よく記載すること。

### 8 施術明細

- ① 往療料 km、その他  
② はり、きゅう、電気鍼又は電灸器及び電気光線器具  
③ 上記について施術後その都度、必要事項及び金額を記入すること。  
④ 施術所見を記入すること。

受領委任による取扱いでは、上記に加え、

開設者及び施術管理者は、受領委任に係る施術に関する施術録をその他の施術録と区別して整理し、施術管理者及び勤務する施術者が患者に施術を行った場合は、当該施術に関し、必要な事項を受領委任に係る施術に関する施術録に遅滞なく記載させるとともに、施術が完了した日から5年間保存すること。

また、開設者及び施術管理者は、当該患者に係るすべての同意書等の写し（紙での出力が可能な電子的記録によるものを含む。）を上記の施術録の保存と合わせて施術が完了した日から5年間保存すること。

と、なっていますので必ず既定の用紙に都度記載し、整備し保管しておいて下さい。

## 会費徴収方法変更のお知らせ（再掲）

コロナ前は年間2回の会費徴収でした。コロナ過における会員の負担軽減のため2ヶ月に1回（年6回）の徴収としていましたが、年間6回の郵便の送料・引落手数料・人件費も3倍かかっておりました。

経費削減及び事務局の財務作業軽減も含め、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行された事を機に、令和6年度より4月・8月・12月の年3回の徴収にいたします。

尚、12月は賠償責任保険の引き落としもおこないます。

何卒、ご理解の程よろしく願いいたします。

敬具

（財務担当 森下 輝弘）

### 記

- 令和6年 4月5日は、令和6年4月・5月・6月・7月 会費 → 済
- 令和6年 8月5日は、令和6年8月・9月・10月・11月 会費
- 令和6年12月5日は、令和6年12月・令和7年1月・2月・3月 会費・賠償責任保険の郵便自動引き落とし日となります。

## 令和6年4月度 会員動態報告書（敬称略）

- 正会員入会申請（3名） A会員 佐子幸男 荒木貴博  
B会員 岡本航

- 準会員申請（13名） 深海守之 岩本明子 柳山済 藤岡節子 合田悠人  
河口典子 山本涼平 嶋嶺汰 三谷典映 平井美美  
深海守之 山口未奈生 川合悠太

- 協賛会員申請 無し

- 会員相続権申請 無し

- 会員種別変更 無し

- 登録事項変更（3名）

- 施術所住所・電話番号など 無し

- 退会届（2名） 宮原智也 眞鍋恵美子

- 賛寿会員申請 無し

- 休会申請 無し



公益社団法人 大阪府鍼灸師会 令和5年度 第8回理事会 議事メモ

出席理事：堀口正剛 南 治成 荒木善行 久保俊仁 浅井和俊 永澤至子 森下輝弘 北川 肇 清藤直人 喜多伸治  
新名美恵 吉野亮子 岩津優希 吉村春生（順不同）  
出席監事：浜田 暁 得本 誠 富永礼子 欠席：丹波徹二 三宅なつえ 廣橋久美子

【出欠確認】 ■理事 17名 出席数：14名 欠席数：3名 ■監事 3名 出席数：3名 欠席数：0名

|                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (次第)                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| I. 開会の辞                                                                                                                                                                 | 理 事 南 治成                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| II. 挨拶                                                                                                                                                                  | 会 長 堀口正剛                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| III. 報 告                                                                                                                                                                | 正副会長報告・日鍼会報告（南・荒木・新名）<br>委員会報告                                                                                                                                                                                                                                            |
| 【正副会長報告】<br>堀口会長より                                                                                                                                                      | JLCDAM 緊急会議<br>DSAM 緊急会議<br>金沢ボランティア<br>災害医学会 体験ブースサポート<br>厚生労働大臣表彰授賞式                                                                                                                                                                                                    |
| 【日鍼会報告】<br>荒木副会長より                                                                                                                                                      | 鍼灸電カル作業部会（WEB）<br>全国大会開催準備委員会（WEB）<br>医療連携講座第2回運営会議（WEB）<br>鍼灸電カル ベンダーとの意見交換会（WEB）<br>鍼灸電子カルテ標準参照仕様に関する会議出席（WEB）<br>日本鍼灸師会国際員会シンポジウム出席（WEB）<br>東京海上賠償責任保険 WEB 受付システムについて東京海上からの説明<br>組織委員会会議 次年度予算検討<br>労災 災害防止研修①～⑥<br>国際委員会 シンポジウム<br>セイリン合同説明会<br>組織委員会会議 会員証シールについて検討 |
| 【大鍼会報告】<br>会長・副会長より                                                                                                                                                     | 学校関係 卒業式・謝恩会出席                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 【IT 補助金報告】<br>南副会長より                                                                                                                                                    | 開発はほぼ終了。21日の夜にデモ。完成度を確認の上残金の支払い<br>今年度決済（見積書 410 万円。追加 114 万円）。来年度の予算には影響しない                                                                                                                                                                                              |
| 【全国大会報告】（最終報告）<br>荒木副会長より                                                                                                                                               | 全国大会監査（1月27日）※別添：収支決算書参照（報告書付）<br>日鍼会理事会にて監査終了の報告<br>各後援団体へ事業報告（統括レポート）を提出<br>中央団体への事業報告（統括レポート）提出を日鍼会へ依頼<br>大阪府・泉佐野市へ事業報告書の提出<br>実行委員への謝金支払い（残金 1,030 円⇒能登半島地震義援金へ）にて経理終了。                                                                                               |
| 【その他】<br>南副会長より<br>堀口会長より                                                                                                                                               | 危機管理委員会 災害対策は専門性が高いため会長が兼務<br>会員証シールは準備が間に合えば、大阪は総会資料と一緒に送付                                                                                                                                                                                                               |
| IV. 議 案                                                                                                                                                                 |                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 第1号議案<br>正会員申請                                                                                                                                                          | 会員動態（北川）<br>新岐宏基さん：情報を再確認の上 ➡ 承認（全会一致）<br>岩津先生：住所修正の上 ➡ 承認（全会一致）                                                                                                                                                                                                          |
| 第2号議案<br><事業目的><br>編集・情報のフレッシュなどのデジタル化に伴い支出が削減されているが、会員が減少している事実を鑑み、固定費や変動費を減らせないか予算案の段階で収支をあわせていく必要がある。<br><事業の目標><br>令和6年度は会員450名 入会者を10名として作成。収入は19,586,000円を見込み、支出は | 令和6年度予算案【継続審議】（浅井・森下理事）                                                                                                                                                                                                                                                   |

19,135,758 円。結果、令和6年度は450,242円（収入>支出）の黒字予算案となった。  
支出19,135,758円の中で公益目的事業は10,680,738円。公益目的事業費率は55,8%を超え問題なし。  
➡ 承認（全会一致）  
第3号議案 令和6年度事業計画案【継続審議】（浅井理事）  
令和6年度事業計画案について、各委員長より提出された各事業計画を反映した事業計画案を作成したので確認・審議・承認をいただきたい。※理事監事地域代表一泊研修会会場について未定のため要検討。

小児鍼 → 小児はり  
民生・労災 新規登録講習会 4月21日→ 5月26日  
文言、日程修正の上 ➡ 承認（全会一致）  
第4号議案 若手鍼灸師の集い【継続審議】（岩津理事）  
若手鍼灸師（募集時基準は検討中）、鍼灸学生を対象とした鍼灸フェスの開催。  
各ジャンルに特化したセミナーを2講座同時で3コマ、計6講座の開催。  
同会場に企業ブースを設け触って試せる体験展示による協賛をお願いしていく。  
森ノ宮医療学園会場内で懇親パーティーを実施する。  
開催時期 令和6年8月中（日曜日開催）  
目標参加者数 50名～100名  
必要講師 6名（各分野でご活躍されている若手鍼灸師）  
講座項目 美容、婦人科、小児、スポーツ、SNS、経営、訪問、介護などが候補  
必要人員 最低15名（内訳）受付3名、セミナー会場各3名、会場内6名

事業予算  
入 日本鍼灸師会コラボ事業費 20万円（見込）  
近畿ブロック各青年部 11.5万円（内訳別紙参照） 合計 31.5万円  
  
出 森ノ宮医療学園会場費 5万円  
講師料（6講座） 6万円  
ケータリング料 12万円  
備品（名札、懇親会景品） 8.5万円 合計 31.5万円  
➡ 承認（全会一致）

第5号議案 電子カルテ「COMO」の導入【継続審議】（荒木副会長）  
➡ 継続審議（日鍼会の動向を見ながら考えていく）

第6号議案 ヘルパー2級修了証再発行の手数料に関して（永澤理事）  
平成11年～平成18年まで7年間実施されており受講者は累計229名。  
再発行希望者の手数料として5000円を請求したい ➡ 承認（全会一致）

第7号議案 その他の件  
・高齢者に対するはり灸施術アンケート実施【継続審議】（吉村理事）  
文言の修正の上 ➡ 承認（全会一致）  
・フレッシュ送付の件（廣橋理事代理：浅井理事）  
地域代表連絡会にてメールアドレス不明者の確認を再依頼。マイページが出来るまでの経過措置も考慮し、フレッシュ紙面郵送の全面廃止（紙面希望者は除く）は来期1年間の猶予期間を設けることで合意した。  
・要穴カルタ大会（荒木副会長）  
来年度より 毎年11月23日（祝）に決めて開催。学校協会主催で開催。  
今年は関西、次年度は関東で隔年持ち回り。  
学校協会より5月以降に後援ならびに協力依頼がある。

V. 閉会の辞 北川理事

公益社団法人 大阪府鍼灸師会 令和6年度 第1回理事会 議案メモ

出席理事：堀口正剛 南 治成 荒木善行 久保俊仁 浅井和俊 永澤至子 森下輝弘 北川 肇 清藤直人 三宅なつえ  
廣橋久美子 新名美恵 吉野亮子 岩津優希（順不同）  
出席監事：浜田 暁 得本 誠 富永礼子 欠席：丹波徹二 喜多伸治 吉村春生

【出欠確認】 ■理事 17名 出席数：14名 欠席数：3名 ■監事 3名 出席数：3名 欠席数：0名

|                                 |                                                                                                                                                                                                                                                          |
|---------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (次第)                            |                                                                                                                                                                                                                                                          |
| I. 開会の辞                         | 理 事 南 治成                                                                                                                                                                                                                                                 |
| II. 挨拶                          | 会 長 堀口正剛                                                                                                                                                                                                                                                 |
| III. 報 告                        | 正副会長報告・日鍼会報告（南・荒木・新名）・委員会報告（別紙参照）<br>・ECサイト及び会員管理システムについて（南副会長）                                                                                                                                                                                          |
| 【正副会長報告】<br>堀口会長より              | マイページ運用説明会議<br>金沢市災害支援活動<br>近畿ブロック師会会長会議（近畿ブロック防災訓練について）<br>DSAM 運営会議                                                                                                                                                                                    |
| 【大鍼会報告】<br>会長、副会長より             | 各学校卒業式、入学式への出席                                                                                                                                                                                                                                           |
| 【日鍼会報告】<br>南副会長より<br>荒木副会長より    | 鍼灸電子カルテの標準参照仕様に関する会議<br>第5回医療連携講座（大宮呉竹医療専門学校）※1<br>新研修システム「manaable（マナブル）」運用開始※2<br>※1 埼玉県大宮市の大宮呉竹医療専門学校にて開催、参加者161名<br>（現地参加48名）<br>※2 令和6年度より運用開始、大鍼会で先行して実装中（4月豊枢勉強会より）<br>まず教師会で先行して実装し、7月～8月頃に全国学術研修担当者向け説明会を実施し、国的運用ならびにE-ラーニング（NELS）の移行を進める。      |
| 新名理事より                          | AcuPOPJ 運営作業委員会<br>2024年5月末期限の学生準会員および鍼灸師準会員へ、準会員、正会員への登録案内メールを一齐送信                                                                                                                                                                                      |
| 【委員会報告】確認および追加事項                | ・介護高齢者へのはり灸アンケートについて（吉村理事 代理：浅井理事）<br>文言の修正後実施<br>・編集委員会・情報化委員会（廣橋理事）<br>会員のメールアドレスの収集は今回の理事会で締めて、新システムのデータ入力作業を業者に依頼する。<br>フレッシュはメールにURLを貼り付け、ホームページにアクセスしてPDFを閲覧できるようにする。<br>・ECサイト及び会員管理システムについて（南副会長）<br>ほぼ完成。4月末納期 5月トライアル、理事間で使用した上で6～7月頃リリースする予定。 |
| IV. 議 案                         |                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 第1号議案<br>入会申請 川口直秀先生 ➡ 承認（全会一致） | 会員動態（北川）                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 第2号議案<br>令和5年度決算報告の件（浅井・森下）     | 令和5年度決算報告の件（浅井・森下）<br>・前回理事会で予算案の承認・資金調達・設備投資の見込みの承認を確認した<br>・収入は16,500,287円に対し、支出は17,747,747円で、1,247,460円の赤字<br>公益法人の3条件の検証については、<br>1 遊休財産は10,379,743円、公益事業は8,884,639円で問題なし。                                                                           |

2 収支相償は問題なし。  
3 公益目的事業費率は8,884,639円/17,747,747円で、50.06%で問題なし。  
・決算資料p7、8の日付（令和4年→令和5年）とp10の日付（令和4年→令和6年）を修正する  
・財産目録のECサイトの稼働日を5/1に修正する  
・先日13日（土）監査会があり、日付等の修正の報告がある事をふまえて  
浜田監事より監査報告書の記載に間違いないと報告があった  
決算報告・財産目録 ➡ 承認（全会一致）  
第3号議案 令和5年度事業報告の件（浅井）p13～22  
公1事業 参加していないイベントを削除 文言を修正する ➡ 承認（全会一致）  
第4号議案 公1事業 府民公開講座の件（三宅）  
承認（全会一致）  
第5号議案 理事会での会員動態報告における出身学校の記載削除の件（北川）  
承認（全会一致）  
第6号議案 賛助会員申請書の記載変更の件（北川）  
賛助会員申請書の③、高齢引退者の会費免除の記載を削除する ➡ 継続審議  
第7号議案 電子カルテ「COMO」の導入【再上程】（荒木）  
懇合意見 ①会員数が減少中の当会の財務状況上、電子カルテ「COMO」の導入による年間90万円を超える新たな支出を増やすことが当会を運営していく上で難しい事  
②電子カルテ「COMO」の施術録の書式が行政の書式（健康保険法、生活保護法、労災法の療養費取り扱い時の支給基準）に適合しているのかどうか監督官庁への確認が必要である事施術の度に都度都度記載が必要である施術録において、そもそも電子カルテを施術録として認めているのかどうか監督官庁に確認が必要であること  
③当会のみ廉価で利用することは独占禁止法に抵触する可能性がある事  
④撤退時は電子カルテ「COMO」を利用している会員に対してフォローをどうするのか  
懇合意見に対して確認しつつ、準備を進めていくための令和6年度の会議費に対する議案  
➡ 承認（賛成多数）反対4名（北川、森下、三宅、吉野）

第8号議案 その他の件  
・令和6年度総会資料の件（浅井理事）  
総会資料 事業報告部分・公2事業付属明細書 文言修正あり ➡ 承認（全会一致）  
・一泊研修会（浅井理事）  
7月27日、28日 ➡ 8月31日、9月1日で聖護院御殿荘を仮予約している。  
御殿荘の担当者と連絡がとれれば日程調整する。  
日程変更になった場合9月1日理事会予定を8月31日土曜日に変更する  
・大阪府防災協定の件（堀口会長）  
三木先生に決定（立候補）  
・メールでの問い合わせの件（浅井理事）  
浅井理事が対応

V. 閉会の辞 会長指名理事 岩津先生